

急激な変化を求め、行き詰った西岡市政 着実な歩みこそが確かな前進へ

生かされない市民からの寄附

私は平成25年に議会で何度か福祉会館の建て替え推進を取り上げ、市の考え方や建設場所など問い質し、一番可能性の高い場所として本町暫定庁舎用地が挙げられました。建て替えのネックは財政の問題でしたが、平成26年に入って市民だった方が遺贈という形で福祉のために3億円の寄附をされ、それが建て替えの背中を押した格好になり、建て替え計

画は進みました。多くの市民が福祉の推進を願っているにもかかわらず、旧福祉会館を利用されていた多くの方々が先の見えない現状に落胆しています。
一刻も早い新福祉会館の建設に着手すべきであり、進みつつあった本町暫定庁舎用地への建設を進めるべきではないでしょうか。



庁舎問題

第二庁舎の所有権は民間不動産会社に移転 — 買い取りは不可能に —

10月17日の市議会総務企画委員会で、第二庁舎の所有者が民間人から民間不動産会社に変わったことが報告されました。第二庁舎は「リース庁舎」として市民からの批判を受けて

りました。その時から2年経ち、既に約4億円の賃借料を支払っています。当時、膨大な資料要求、数日間の全員協議会と野党の抵抗は続きましたが、その反対が果たして市民のためだったのか大きな疑問が残ります。「リース庁舎は無駄」と批判した会



ることを市議会に提案したものの、当時の市議会野党の反対で実現に至らなかったという経過があ

派が結局「リース庁舎」を続けざるを得ない事態へと追い込んだこととなります。議会の判断が市財政をより厳しいものにしたことを教訓にしなければなりません。

単独での新福祉会館建設を 先行させよ

西岡市長の6施設複合化が撤回されたことで、本庁舎の建設のめども見えなくなってしまうました。そのため、第二庁舎をあと何年使うことになるのか、それも不透明になっているのです。方向性を一日も早く出していく必要があります。新福祉会館を複合化から切り離し、早急に建設することにより庁舎建設の方向性も出しやすくなると考えます。



▲第二庁舎

<http://igarashi-kyoko.com>

五十嵐京子

検索

小金井で元気に！ 小金井を元気に！

前小金井市議会議員

五十嵐京子

通信
第43号

2016年12月発行

五十嵐京子を支援する会

小金井市本町3-8-9-312

電話 042-384-9920